

# ほろけん

かんとうほう  
336 敢闘賞



## グランドゴルフ大会表彰式



## 大崎短歌会

兼題「茶・自由」

久々にうすく紅さし初孫の  
結婚式や桜咲き初む  
晩春の里の茶の畑緑萌へ  
吹く風緩み夏も近づく  
夏近し御茶味わへば香り立ち  
雑事わするる心静けき  
鹿兒島の茶葉生産の一位なる  
機械導入農地改良か  
手作りの夫の湯呑みに五指が添い  
お茶ゆらゆらと君の命日  
茶畑のみどりの絨毯輝きて  
新茶薫れる日も遠からじ  
兵ら歌ふ白頭山節てんつるしゃん  
父も若かりし宴はたけなは

上南紀子  
栢山重子  
山下海征  
川崎健一  
井元かず子  
実吉安仁  
本後淑子

急激に気温上昇四月の庭に  
つつじ満開紅、白、ピンク

菜園畑囲める茶の葉摘み煎りて  
にぎわふ語り香こぼる土間

一日の業務終えしか真夜中に  
基地へと帰る飛行機の音

## 薩摩郷句

兼題「汗」

濡れ置む 汗ぞつぶいで ボラソテイヤ  
(唱) 有難て事ち 手をば合わせつ  
西ノ園ひらり  
呼出して 汗が噴つ出た 校長室  
(唱) 馬鹿児がまたも 何ゆ仕出たかよ  
諸木小春

穂園芳江

馬場みさ

坂元つる子

どげんすち 汗で眉毛どま ひっ熔けつ

(唱) ああ恥なち 帽子す深こ被つ 満石うらら

汗をけつ 稼げば主人は 飲ん歩りつ

(唱) 齒痒い夫じゃが 少つた働け 二見愚楽満

内気な青年 汗を拭ぐ拭ぐ プロポーズ

(唱) 強い事じゃつた 良か返事ずば待つ 北村虎王

長距離走 相手人大汗い 勝負ぶ掛けつ

(唱) よし今じゃつち 追い抜きかかつ 上村牛歩

凄げ蒸暑き 汗で目が染ん 農業仕事

(唱) 日照いも強し したい疲れた 上窪小絵

見事ち事 婆様ん汗が 育てた野菜

(唱) 愛情一杯い 野菜も応えつ 三ちゃん

久しか振り 汗んグランド ブービー賞

(唱) やつたぜブービー 誰も敵わん 佐藤ぼつけちゃん

暖き寒みん 加減が出来じ 汗をけつ

(唱) 朝晩寒し 昼の間あ暖し 藤元鬼瓦

汗染んが 黒か帽子どま 白ろけなつ

(唱) そんな塩じゃが 早よ洗るやんせ 遠矢耐多

※白頭山＝朝鮮半島に在る山